とかち新聞　主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町 ㊑とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1ヵ月300円　1ヵ年前納3,000円

[illegible]學に増築工事へ
足寄高校 間口増で

[illegible]月から一間口増となつた足寄高等学校では、こ[illegible]ともなう増築工事が順調にすすめられています。

足寄高校は足寄と陸別の両町をかかえた道立高校で両町毎年の中学卒業生四百名に対して受け入れは普通科三学級、家政科一学級をふくめてわずかに百八十名の"狭き門"でした。それだけにふるいにかけられた生徒とあって、国立大学への難関突破率は管内では帯広の三条や柏葉につぐ名門"高校ともいわれてきました。

しかし、もはや高校全入、義務教育化の時代ともなっているおりから、昨年七月に足寄地区労の主催による「民主教育をすすめる足寄町民会議」が公民館でひらかれ、約二百名の一般町民があつまつて、地元に高校がありながら志望者の半分も入れず、本別や池田や帯広へ進学なり下宿なりで費用がかさむので、なんとか足寄高校の間口増をはかるべきだという声がたかまりました。

このため両町の理事者、教育委員会ではさっそく八月に入って道教委へ実状を訴えたものの、すでに全道から七校の間口増の要請が出ており、特に幕別高校が先行しているので同じ十勝管内から二校同時はムリで明後年（五十三年度）からならなんとか考えようということになったものです。

それでは困る、なんとか明年（五十二年度）からでなければと一両町の八中学校と高校のPTAが一丸となって足寄高校普通科間口増設促進期成会を結成して運動にあたる一方、九月の定例足寄町議会では「間口増に関する要望意見書」を決議して関係方面に議会の意志を示すとともに、特別委員会を設けて両理事者、教委、期成会が一体となってことにあたり、特に期成会の石田富男、大川義夫両副会長があの手この手の政治力で十一月には明年からの一間口増を決定づける役割を演じたといわれていますが、道教委としては帯広市周辺は公立、私立の高校がむしろ過剰気味なのに対し十勝東北端の足寄、陸別の両町の[illegible]えれない要望を無視できなくなったものとみられます。

ことしから一間口増によって足寄高校としては、四月からはとりあえず理科教室を転用して間に合せていますが、これを認めた道としては本年から一教室ずつ増設していかなければなりませんが、このほど四教室を一挙に増築することになり、足寄町の木村建設（木村春三社長）が四千六百三十万円で請負いすでに着工中で十二月二十五日に完成となっています。

これは町が建てて道立移管のために道に寄付した鉄筋ブロック二階建校舎の東側に接続して増築するために、いっそのこと二階建四教室となったようで、余分の一教室は美術教室に予定されています。

なお、本年は教員住宅を新津組（新津春雄社長）によって新築されますが、間口増のために年々ふえていく教員の住宅不足がこれからの問題となりそうです。

足寄町議会
北星公園を造成

足寄町議会の第五回臨時会は十三日午前十時にひらき、会期を一日ときめて、はじめに北星公園（下愛冠）造成その一工事を三千八百四十五万円で大川組（大川義夫社長）と請負契約締結についてを上程しましたが、契約締結そのものには異議はなく、議案に関連して公園造成にともなう排水施設について論議がかわされ、飯田建設課長らの説明でなっとくして議決。

ついで公営住宅建設工事の請負契約金額四千七百二十万円を四千七百七十九万三千円に変更と、北星公園の造成にともなう三本の町道認定の専決処分の報告を承認して、午前十一時すぎに閉会しました。

三町のこの人

新任の足寄営林署長
村上武雄さん

○…全国で営林局は十五局あるうち、その三分の一の五局が北海道にあるので、あるいは—とは思っていたものの青森県の中里営林署長から足寄へ—それも八月一日付の林野庁辞令を内示されたのは十日前というあわただしさだったそうで。足寄についての第一印象は『ととのったキレイなマチです』とのこと。

○…前任地は杉の植林が主で署の人員も足寄の三分の一程度でガラリと趣きの変った勤務地ですが、署のつく役所（営林署、警察署、税務署など）は二、三年で異動になるが、どこへいっても

一、自分の仕事にほれること
一、その土地にほれること
一、自分の女房にほれること

の「三ほれ主義」で押し通しているそうです。

○…村上さんは昭和十年に宮城県白石市生まれの四十二才で、白石高校を出て白石営林署に入り、二年後に青森営林局の造林課にうつってから、ここでの勤務中に難関の林野庁の研修所入りに成功して専攻科を終えてから岩手営林局の人事係長、盛岡営林署の経営課長、新町営林署の監視官から三十九才で中里営林署長を三年足らずで足寄へという順調な歩みで、長女の高校生は青森に預けて、官舎には夫人と次女の中学生との三人暮しです。

ニュースを斬る
どこへいく社会党？

◆…社会党は目下、協会派、反協会派、中間派のあいだで党内論争がさかんで"アワヤ分裂か解党か"の危機をはらんだ様相を呈しています。

◆…この論争は総裁、総理の座をめぐっての自民党内の派閥力学とは次元の違う、党の路線をめぐる論争なので、これはこれで大いにやるべきことですが、そうかといって党を割って自民党を喜ばせることはない筈です。

◆…社共でいくのか、社公民でいくのかは無意味なはなしで、共産党はもともと現在の憲法には反対で、天皇が出席する国会の開院式をボイコットしており、独立国には軍隊がなければならないとしていますが、いまそれをいったのでは選挙に不利なので、まるで自民党と同じように自由と民主主義の政党であるかのように装っているだけだし、公明党にしても当時、政府が使っていた公明選挙の公明を"横取り"して、さも革新政党であるかのようにふるまってはいるものの、実態は"ナム・ミョウホウレンゲキョウ"の"創価学会"であり修正資本主義の"宗教政党"であり、民社党に至っては労働組合内に第二組合をつくっていく分裂主義の労使協調の政党であって、公明、民社の両党とも"反共"の旗をかかげており、共産党は前衛革命政党であって、この三党はいずれも大政党に伸びる要素はないので、この三党の方から社共なり社公民なりを求めているのに過ぎないのです。

◆…金権政党である自民党とはともに天をいだかず式の公明、民社の両党も民主的ではないし、この二党を指して自民党の補完勢力とキメつける共産党も大人気ないはなしですが、このように誤解も偏見も[illegible]ろ野党が選挙協力だの連合政権だのといってみたところでピッタリと一致してやれる見通しはないのだから社会党は右往左往することはない筈です。

◆…党内論争の焦点は最左派の社会主義協会の在り方が問題となっていますが、もともと社会党は社会民主の人道主義者からマルクス・レーニン主義者までをふくめた巾ひろい政党で、その最左派の協会派の勢力が増大してまるで共産党と同じようにみられることが党のマイナスとして反協会派がこれを押えようとしているわけです。

◆…共産党が天皇を認めない、革命に反対する勢力を排除するためには軍隊が必要である—と正直にいってくれればそうでもないが、このままで協会派に大手をふられては巾の狭い前衛党になってしまうのをおそれる反協会派の動きは党内の権力争いではなく、綱領で大衆に親しまれる本来の社会党に戻そうとするためであろうと思います。

◆…社会党はわずか五万人の党員で選挙のたびに一千三百万票前後の支持を得ているのは、非武装、護憲中立という日本の憲法にもっとも忠実で、どの政党にもない独自の政策をもっているからで、この点では党内は一致しており問題はないので、ここで分裂して一千三百万人の支持者を裏切ることはないと思います。

◆…これからの選挙で与野党逆転なり保革逆転の事態となっても、ここ当分は自民党が第一党の時代はつづくので、水と油の連合政権などに色気をみせないでこんご五年かかろうが十年かかろうが社会党が自民党を追い越して第一党になるまでは節操のある野党として頑張るべきで、それにはなんといっても党の統一と団結によって党勢の拡大に努力することです。

駐車場でひともめ

足寄町の中心市街の一角にある駐車場をめぐってひときわざの事態を招きました。

場所は大通り南一区の明治生命の所有地九十坪で、この付近の西田呉服店、佐々木金物店、岩佐書店、大井商店、近間電気、KS電器商会、みねちゃん食堂、大沢洋服店、江戸っ子寿司、中央市場などが共同駐車場として使わせてもらいたいと一利用組合をつくって商工会を通じて明治生命札幌支社と昨年十月に賃貸契約を結んで使用してきたものでした。

賃貸料は一ヵ月一万円で契約は一年更新として、五年間ぐらいは使ってもよいような話しだったので、町も応援し組合員が費用を出し合って駐車場に整備しました。

ところが一カ年の契約期間にも満しない七月末になって明治生命ではこの土地を売りに出すことになり、すでに不動産鑑定士の評価をうけて一千二百万円で不動産業者に売買を依頼したものでした。

この間の事情を知らない不動産業者が真っ先に話しをもち込んだのは、駐車場の地つづきの加藤スーパー（加藤七郎社長）だったことで、業者としては加藤氏がとなりや谷家具店を買収して店舗の拡大をめざしているところに目をつけたようで、もし加藤氏が買わなければ帯広市のセトウチセンターが進出を希望しているので、短兵急にイエス、ノーを迫られて、一応、地元の利用組合（西田忠雄組合長）に事情を伝えたもの、充分な協議がととのわないうちに、業者にせかされて八月三日に明治生命との間で売買契約、所有権移転登記をすませたものです。

利用組合のなかでは商工会長に抗議する向きもありましたがあとの祭りといった形で、すでに相手は明治生命ではなく加藤氏に替って、せっかく組合をつくって共同駐車場を運営していたのを一個人にとられてしまったというシコリは残っているようです。

当の加藤氏にすれば、地つづきの角地を町外の人に買われて建物を建てられては困るし、あくまでも駐車場として存続させたいためだったそうで、一千二百万円もの借金をして買うことには家族は大反対だったが商店街に駐車場がないのは消費者へのサービスにはならないと—加藤スーパーでは早くから要望していたので、本当は利用組合が買ってくれればよかったが突然のことでまとまりそうもないので自分が取得したものの、駐車場として使用するのならどなたにでも譲るといっています。

だからここは従来どおりに利用組合の看板をつけて無料で使って下さい—といっていますが、ただし加藤氏の方から各商店の看板は[illegible]してダルマの旗ははずしてお客さんが自由に出入りし易い駐車場にしたいこと、ここに十坪ほどの野菜貯蔵庫を設ける場合は向いの加藤スーパーの倉庫を撤去して駐車場をひろげるので自由に使ってほしい—というのに対して組合側はなっとくしていないもようです。

こうした状態は、要するに組合側の諒解もなく、局外の加藤氏が明治生命から買ったことに対する不満のあらわれとみられますが、この土地を借りるときは商工会の幹部が明治生命の釧路支社へいって契約しておりながら、釈然としない事態を招いたことについて六月ころ明治生命側が不動産鑑定士を町役場へ調査によこした情報を組合へ伝えたし七月末になって売買交渉のもようも伝えたが、だれにいくらで売るのかを明治生命に問い合せても秘密事項だからとして教えてくれなかったそうです。

それにしても加藤氏はここをいつまでも駐車場として存続させていくことを商工会にも確約しており、加藤氏自身は商工会の商業部長の立場にもあるので、この土地取得は将来展望に立った善意の行為とみる人もいるようです。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊇ 久保呉服店
足寄町 ☎二二一四八

もぎたてのアマーイ、アマーイとうきびができました。
どうぞ武藤野菜店へ

足寄新名所へ
楽しい銘石湯でおつくろぎ下さい
小宴会、大宴会、各祝賀会に
グリーンパーク
ドライブイン・大駐車場完備！
足寄町里見が丘公園 ☎ 五—三一七五